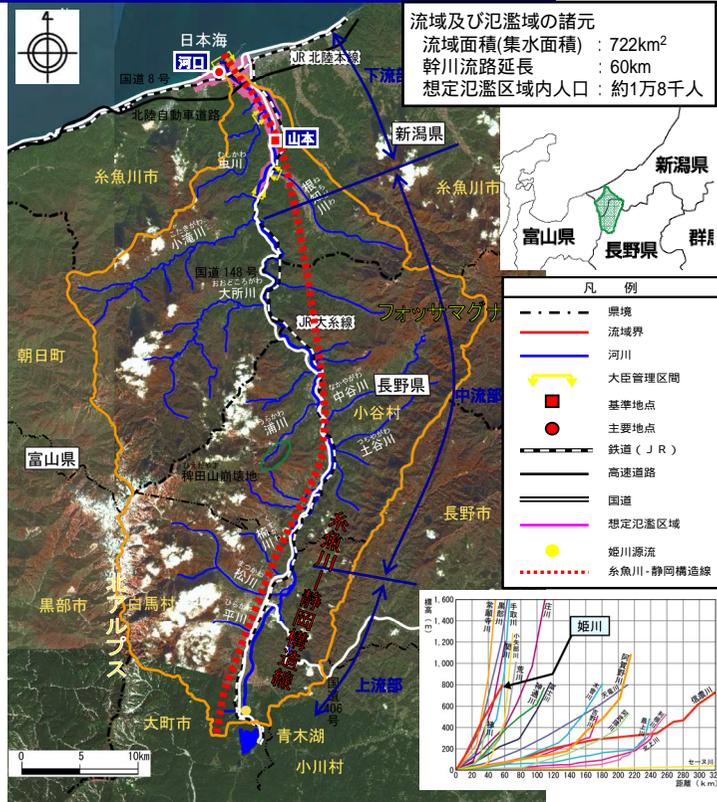


姫川水系河川整備基本方針

姫川水系河川整備基本方針の概要

流域及び河川の概要

流域の大半を急峻な山地が占め、河床勾配は1/60～1/130程度と国内屈指の急流河川
 下流部の浸水想定区域は糸魚川市中心部となっており、洪水が一度氾濫すると甚大な被害が発生
 大規模な断層帯である糸魚川-静岡構造線沿いの脆弱な地質地盤を流域としているため、洪水時には上中流部から大量の土砂が本支川に流出し、土砂災害が頻発



災害の発生防止又は軽減

工事实施基本計画策定後に計画を変更するような出水は発生しておらず、流量データによる確率からの検討、時間雨量データによる確率からの検討、既往洪水による検討、1/100確率規模モデル降雨波形による検討等により総合的に検討して、基本高水のピーク流量を基準地点山本で5,000m³/sと設定

[流量配分図]



- 砂防設備の整備による土砂流出の抑制・調節や堤防の新設・拡築、河道掘削等により河積を増大させるとともに、水衝部には護岸等を整備
- 河床上昇に伴う氾濫や河川内構造物等の被害等が発生しているため、河床変動幅を抑え、洪水が安全に流下できるよう土砂管理と一体的な河川管理を図る

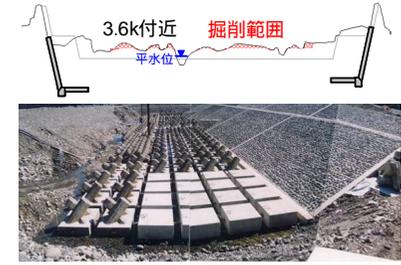
砂防えん堤の整備(浦川)



来馬河原遊砂地の整備(本川)



河道掘削と根継護岸の整備状況



河川環境の整備と保全

上流部ではカワガラス、イワナ等の良好な生息・繁殖環境である溪流環境の保全に努める
 中流部ではカジカガエル、サンショウウオ類を始めとする多様な動植物が生息・生育・繁殖する河岸や河畔林等の保全に努める
 下流部ではアユ、サケ等の遡上環境や動植物の生息・生育・繁殖環境について治水と調和を図りつつ、保全に努める

河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

広域かつ合理的な水利用の促進を図るなど、今後とも関係機関と連携して必要な流量の確保する
 山本地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量は概ね2m³/sとする

